

## 2021 年度第 9 回執行理事会議事録

日程：2022 年 2 月 5 日（土）13:00-17:00【WEB 会議】

出席：磯崎・佐々木・平田・中澤・岡田・緒方・ウォリス・亀高・坂口・小宮・辻森・星・大藤・狩野・松田・高嶋，岩部（監事）

欠席：矢部

事務局 澤木

\*定足数（過半数：9）に対し，16 の出席

\*前回議事録（21-8 回）確認

### 報告事項

#### 1. 全体的報告

- ・ 昨年「日本列島地質総覧」（加藤碩一ほか編集・執筆，朝倉書店発行）の編集協力依頼を受け，理事による原稿チェック等作業を行ったが，内容・手続面で不備があったとして，先方より協力依頼を取り下げる旨連絡があり，承諾した。

#### 2. 運営財政部会（緒方・亀高）

##### 1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集，連絡等>

- ・ 本年 8/21-24 開催予定の第 9 回国際地学教育会議（GeoSciEd）（地質学会後援）は，新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮して，開催日の 1 日短縮およびオンラインとの併用開催へと変更する旨連絡があった。
- ・ 本年 7 月開催予定の第 17 回 岩石-水相互作用国際会議組織委員会（地質学会共催）について，新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮して会期を延期（23 年 8 月）する旨連絡があった。
- ・ 自然史学会連合総会（1/10 開催，学会代表委員：兼子氏出席）。コロナの影響で 21 年度は旅費の執行がなく，繰越金が多いため，各学会の来年度分担金はない見込み。
- ・ 第 13 回 地理学連携機構，地理関連学会連合，人文・経済地理関連学会協議会合同総会（3/18 オンライン）開催案内があった。都合により欠席となるため委任状提出予定。
- ・ 第 19 回（令和 4 年度）日本学術振興会賞候補者推薦依頼（受付期間：3/30-4/4，学会締切：3/18）【→geo-flash, ニュース誌 2 月号掲載予定】
- ・ 2022 年度国土地理協会学術研究助成募集（受付期間：4/1-15）【→geo-flash, ニュース誌 2 月号掲載予定】

<会員>

##### 1. 今月の入会者（4 名）

正（院割）会員（3 名）：盛合 秀（21 年度入会），西 里紗（22 年度入会），種子涼太（22 年度入会）

正（学部割）会員（1 名）：山縣元子（※入会年度確認中）

##### 2. 今月の退会者（なし）

##### 3. 今月の逝去者（1 名）

正会員（1 名）：清水 弘（逝去日：2022 年 1 月 17 日）

#### 4. 2022年1月末会員数

賛助：27，名誉：39，正会員：3293 [内訳 正 3168，院割 117，学部割 8] 合計 3359 (昨年比-77)

##### <会計>

- ・ 学術著作権協会より，2021年度著作権使用料等分配金（179,100円）の入金があった。

##### <その他>

- ・ 会員クラウドシステムについて：データ移行作業が進行中。会員名簿に代わる機能として，会員情報の検索機能等を整備する。画面仕様は現在作成中。閲覧可能な内容は，基本的には冊子版に準拠する予定。

### 3. 広報部会（坂口・小宮）

#### 1) 広報委員会（坂口）

- ・ フォトコンテストの募集を1/31で締め切った。応募総数387点（昨年比-48）。2/28審査予定。
- ・ 学会HPで公開するNews誌PDF版のカラー差し替えについて：カラー差し替えをする部分を予め決めておきPDF版について自動的にカラーに差し替える（数百円/件程度）。ただし元原稿が白黒の場合は，白黒のままにする。
- ・ ジオルジュ編集委員長は引き続き坂口理事が担当とする。

### 4. 学術研究部会（辻森・ウォリス・星）

#### 1) 行事委員会（星）

- ・ 早稲田大会のトピックセッションを募集中（3月10日締切）。セッション変更に関するzoom説明会を開催する。2/10（木）12：30から。
- ・ セッション変更については1月に理事会でメール協議し，大きな反対意見がなかったため前に進めるが，正式には4月理事会で承認を得ることにする。
- ・ ジェネラルセッションの関連分野選択肢について行事委員会で検討した。次の11項目を挙げ，この中から最大3つ選択してもらうことにした：1) 地域地質・層序・年代，2) 岩石・鉱物・火山，3) 地球化学，4) 堆積地質，5) 海洋地質，6) 構造地質，7) 第四紀地質・環境地質，8) 古生物・古環境，9) 応用地質・地質災害・技術，10) 教育・研究史，11) その他（ ）。
- ・ 早稲田大会でシンポジウムを開催する場合は，4月理事会での紹介に間に合わせるため3月執行理事会でタイトルと概要を固める必要あり。
- ・ 5/29（2022JpGU会期中）にオンライン開催する「地質学露頭紹介 at JpGU2022」について，本会ウェブサイト以案内を出すとともに，発表募集を開始する。
- ・ 学術大会運営サポートシステム（Confit）の利用については，6月を目途に今大会での運用方法を決める必要がある（電子ポスターなど）。

#### 2) 専門部会連絡委員会（辻森）

- ・ 地質環境の長期安定性委員会と環境地質部会との合流（組織再編）は行わないこととなった。長期安定性委員会は4月解散を予定している。

#### 3) 国際交流委員会（ウォリス）

- ・ IGC（2024韓国）巡検関連については，IUGS会長のLudden氏及びIGC会長のCheong氏に連絡し，今までの経緯について報告した。韓国側との継続審議を期待したい。

#### 4) 地質標準化委員会（辻森）

特になし

5) 選挙管理委員会（中澤）

- ・ 1/14 に代議員選挙および正副会長意向調査の開票を行った。続いて、理事選挙立候補を受付中（2/7 締切）。2/10 委員会開催予定。

**5. 編集出版部会（大藤・狩野）**

1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

(1) 編集状況報告（2022年2月3日現在）

- ・ 2022年投稿論文：11 [内訳] 論説2（和文2）、総説1（和文1）、ノート1（和文1）、フォト1（和文1）、巡検案内書4  
査読中：31、受理済み：3
- ・ 128巻：公開済み1、入稿・校正中3

(2) その他

- ・ アウトリーチ巡検の巡検案内書は、一般市民（非専門家）対象の原稿のため、現行規則に沿った原稿作成では適さない部分がある（図表キャプションの英語表記必須）。例外的な措置を取るか、規則変更も含めて対応を検討中。規則変更の場合は、4月理事会で提案する。
- ・ プレプリントとして公開された原稿の投稿について、JSTより各学協会の対応（受付の可否、推奨、義務化等）を明示するよう求められている。現行規則ではプレプリントとして公開された原稿は地質学雑誌では受け取らないが、その利用に対しては専門分野によって温度差がある。国内外の動向も鑑み、会員に対する丁寧な説明と慎重な議論が必要と考える。

2) アイランドアーク編集委員会（狩野）

(1) 編集状況報告

- ・ 編集状況の報告があった。2021年の投稿数が減っているので有効な対応が必要である。

3) 企画出版委員会（小宮）

特になし

**6. 社会貢献部会（松田・矢部・高嶋）**

1) 地学教育委員会（高嶋）

- ・ 1/16（本試）、1/30（追試）の大学入学共通テストについて講評を行った。今年は地学基礎・地学共にやや易しくなっており、地学基礎は理科で最も高い平均点、地学は二番目に高い平均点となっている。地学基礎は受験者数の変動は特にないが、地学の受験者は右肩下がりになっている。講評

2) 地質技術者教育委員会（佐々木）

(1) キャリアビジョン誌 2021年版

- ・ 1月に印刷・発送した。73社が参加し、フルカラー仕様の見ごたえのある冊子となった。学会HPにその内容（PDF）を掲載した。来年以降も企画を継続したい。
- ・ 担当の坂口理事から既に連絡があったように、収入：2,070,000円、支出：631,853円、収支利益：1,438,147円であり、学会財政に大きく貢献している。

(2) 第2回 JABEE シンポジウム

- ・ 1/20 から HP に講演概要（6 名分）を掲載し、1 月末から参加申し込みの受付を開始した。
- ・ 2 月上旬には関係各所（関係学協会、JABEE 本体・JABEE 地球・資源分野関係、地質系大学関係者、賛助会員、業界研究サポート参加学生・企業、キャリアビジョン誌参加企業、全地連の臨時かわら版の発行）に対する案内の発信を修了する予定である。
- ・ 3/6（日）の当日に向け予定どおりの準備を進めている。

### (3) JABEE 地球・資源分野の運営体制の変更

- ・ 2021 年 7 月末に資源・素材学会から提案があり、12/11 理事会で変更賛成承認を得た。
- ・ 1/31 分野運営委員会が開催され、提案を受けた構成 3 学会（地質学会、応用地質学会、地下水学会）から、提案賛成回答があったことが説明された。
- ・ これを受けて 4 月から新体制で運営できるように、運営委員会に準備会を設置して「構成学会に委員などの推薦依頼」「構成学会から提案があった規則類の変更検討」「繰越金の新団体への移行などの会計的事務処理」「JABEE との新規契約」などを検討することとなった。
- ・ 1/31 付で構成学会に、新体制での委員 2 名以上と監事 1 名以内の推薦を 2 月末までにするようとの依頼があった。担当する地質技術者教育委員会の人選をして回答する予定である。

### (4) 第 7 回地質技術者教育委員会

- ・ 第 2 回 JABEE シンポの準備状況の確認と JABEE 分野新運営体制の委員などの人選のために、2 月中旬に第 7 回委員会を開催する予定である。

### (5) 本委員会の HP 刷新

- ・ 昨年 11 月に引き続き事務局にお願いして、HP 内容を最新の情報に刷新した。

## 3) 生涯教育委員会（矢部）

特になし

## 4) 地震火山地質こどもサマースクール（松田）

- ・ 2023 年度および 2024 年度以降の地震火山地質こどもサマースクール開催地を候補募集中（2/21 締切）。学会 HP、メルマガで会員に周知する。

## 5) 地質の日（矢部）

- ・ 街中ジオ散歩については、オミクロン株の感染急拡大のため、1/15 に予定していた下見を延期した。5 月の実施および延期等について近日中に結論を出したい。
- ・ 「土砂災害」と「火山」をテーマに 2 本の講演を実施すべく、講師候補を選定中..

## 7. その他執行理事会の下に設置される委員会

### 1) 利益相反マネジメント委員会（中澤）

特になし

## 8. 理事会の下に設置される委員会

### 1) ジオパーク支援委員会（委員長天野：代理平田）

- ・ 1/28 に第 44 回日本ジオパーク委員会が開催され、十勝岳、五島列島（下五島エリア）が新規認定され、秩父など 11 の地域が再認定された。

- 2) 地学オリンピック支援委員会（高嶋）
  - ・ 地学オリンピック二次予選が 1/23（日）に全国の各会場で実施。受験者数は 194 名。本選は 3/13-15 につくば市で実施予定。
- 3) 支部長連絡会議（平田）

特になし
- 4) 地質災害委員会（松田）
  - ・ 第 13 回防災学術連携シンポジウム（5/9 オンライン or ハイブリッド開催，テーマ「自然災害を取り巻く環境はどう変化してきたか」）について，各学会から 1 名発表可能。専門部会へ宛てて発表者を募る。
- 5) 名誉会員推薦委員会（佐々木）
  - ・ 理事，専門部会に候補者推薦を依頼し 2/10 がその締め切りである。
  - ・ 現状，候補者の推薦があり，2/10 以降推薦委員会で内容を検討し，3/19 の執行理事会で人選した候補者を報告したのち，4/9 の理事会に諮って 6/11 の総会で承認を受ける予定である。
- 6) 各賞選考委員会（中澤）
  - ・ 選考作業中
- 7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（委員長 堀 利栄）

特になし
- 8) 連携事業委員会（中澤）

特になし

## 9. 研究委員会

- 1) 地質環境長期安定性研究委員会（委員長 吉田英一）
  - ・ 4 月理事会にて委員会の解散を予定している。
- 2) 南極地質研究委員会（委員長 小山内康人）

特になし

## 審議事項

1. 学会運営タスクフォース（学会活性化に関わる会費などの変更に関わる会員説明）
  - ・ 6 月総会審議までの期間，会員に変更内容を十分理解していただくため，あらかじめ学会 HP（会員ページ）に提案内容の経緯や詳細を掲載することとした。佐々木副会長より，会員説明の内容について提案があり，承認した。
2. 山田科学振興財団 2022 年度研究援助候補者推薦について
  - ・ 会員 1 名からの推薦希望があり，申請書類の内容を確認し，学会推薦することとした。
3. 法地質部会の新規立ち上げ
  - ・ 新規専門部会として，法地質部会（代表：川村紀子）の立ち上げ提案があった。設立の趣旨や活動内容を鑑み，まず研究委員会として 2 年間活動し実績を積んだ後，部会化することを推奨する。4 月理事会での研究委員会設置の提案をお願いすることとした。
4. 2021 年度事業実績概要（案）

- ・ 9月理事会での意見を踏まえて文言修正を行い，承認した。
- 5. 2022年度事業計画骨子（案）
- ・ 9月理事会での意見を踏まえて文言修正を行い，承認した。
- 6. 新設賞の英語名称について
- ・ 磯崎会長よりいくつかの名称案が提示された。他学会の既存の名称なども参考にして検討する。継続審議。
- 7. その他
- ・ 高知コアセンターより，コアセンターへの機器移設（広島大から SURIMP，東工大から SQUID）に係る費用支出を高知大学へ要望するにあたり，学会から学長宛のサポートレターの依頼があり，出すことにした。

### 監事総評

岩部監事より下記コメントがあった。

- ・ 会費や会員種別の変更は，大変重要な提案事項であるため，総会までの期間に会員への周知，説明をしっかりと行い，十分な理解を得た上で，総会での審議に臨んでいただきたい。
- ・ 専門部会の活動状況が会員にもっと見えるように，活動報告などをより積極的に行ってほしい。
- ・ 学術大会の開催方法について，コロナ禍後もオンラインを取り入れるなど，会員が参加しやすくなる工夫を検討していただきたい。

以上

2022年3月19日  
 一般社団法人日本地質学会  
 執行理事会  
 会長（代表理事）磯崎行雄  
 署名人 執行理事 中澤 努

### 今後の予定

- ・ 2021年度第10回執行理事会 2022年3月19日（WEB）
- ・ 2021年度第5回（定例）理事会 2022年4月9日（WEB）